

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	ホームでの食事は単に栄養摂取だけでなく、利用者と職員と一緒に、メニューを考え買い物や調理し、味わいながらその仕上がり具合等を話題に楽しく食す支援が求められており、今後はこうした協働作業での利用者の力の発揮や楽しく食べる等、食事への関心を高める更なる工夫を期待します。	・利用者と職員と一緒にメニューを考え、利用者の希望の多いメニューを反映させる。 ・クッキングレクを多く取り入れ協働作業により利用者の能力を発揮していただく。 以上を行い、より食事を楽しんでいただけるよう工夫する。	・月1回開催している、食事検討委員会に利用者も参加していただき、メニューの要望を取り入れ、管理栄養士に反映してもらうようにする。 ・定期的にクッキングレクを取り入れ、買い物支援や調理等していただく。	6ヶ月
2	1	認知症になっても自分らしく有する力を発揮しながら、地域で暮らし続ける事への支援である地域密着型サービスの意義を踏まえた理念づくりを期待します。	楽しく過ごせる場所づくりを重視した理念となっており、理念をケアに反映させているが、さらに、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、ケアに徹底していく。	全員で、現状の理念に加え、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念づくりをミーティング等で話し合い、実行する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。